

第70号 「ピアノの森」

令和2年1月29日

皆さんは、NHKで放送されたアニメ「ピアノの森」をご覧になりましたか？第1シリーズが2018年4月から、第2シリーズが2019年1月から放送されました。私は毎週録画をして見ていました。

まずは、NHK公式ホームページに載っていた番組情報を紹介します。

『森に捨てられていたピアノをおもちゃ代わりにして育った主人公の一ノ瀬海が、かつて天才ピアニストと呼ばれた阿字野壮介や、偉大なピアニストの父を持つ雨宮修平などとの出会いの中でピアノの才能を開花させていき、やがてショパンコンクールで世界に挑む姿を全24話で描く感動のストーリー。』

原作は一色まこと氏による漫画で、2007年には映画化されているようです。私は原作漫画を読んでいませんし映画も見ていませんが、アニメを見て感じたこの作品の魅力について、少し述べさせていただきます。

まず、登場人物それぞれが持つ生い立ちや思いなどが見事に描かれたストーリーであることは間違いありません。その上で私が最も興味を持ったのは、登場人物ごとの素晴らしいピアノ演奏でした。それぞれの人物による細かな表現や音色の違いを見事に出していたのです。それを可能にしたのは、阿字野壮介の演奏を反田恭平、雨宮修平を高木竜馬、パン・ウェイを牛牛（ニュウニュウ）、レフ・シマノフスキをシモン・ネーリング、ソフィ・オルメッソンをジュリエット・ジュルノーと、登場人物と同じ出身国の若きピアニストたちが、それぞれの演奏を担当していたからです。正直、アニメでここまでやるのかという驚きを感じました。さらにショパンコンクールの会場であるワルシャワのフィルハーモニーホールで本番と同じワルシャワ国立フィルハーモニー管弦楽団との共演によって録音したキャラクター別CDアルバムも発売され、アニメに参加したピアニストによるコンサートも東京オペラシティで開催されています。クラシックファンからも大きな注目を浴びるアニメ作品となっているのです。

ピアノを専攻してきた私は、最初は「ピアノの森」というタイトルのみがきっかけで放送を見始めましたが、耳で聴く音楽はもちろんのこと、映像と融合することによって視覚も含めた五感で感じる世界観を演出しているこの作品に、大きな衝撃を覚えました。この「ピアノの森」は、日本が世界に誇るアニメをさらに進化させた一つの芸術作品となっていると感じています。

私も久しぶりにピアノを弾いてみました。駄目です。指がまったく動きませんし、すぐに疲れてしまいました。ショックです。